

細胞移植療法部

■ スタッフ

部長 東 英一
副部長 中瀬一則(兼任)

■ 細胞移植療法部の特色

細胞移植療法部はバイオクリーン病棟、造血幹細胞採取室、細胞処理室、細胞保存室の4つの部門からなり、造血幹細胞移植や細胞療法を行っております。

バイオクリーン病棟

■ 部門の特色

最新技術をいち早く取り入れ、高度な治療に対応出来るように努め、患者様(小児科および血液内科)に優しく、安心できる検査・治療をめざして業務を行っております。

■ 診療体制と実績

1. 業務体制

1) 無菌病室

最高クラスの空気清浄度(クラス100)の無菌病室が5室あります。無菌病室を出るとバイオクリーン病棟の廊下になりますが、バイオクリーン病棟自体の空気清浄度も高いので感染予防ができます。移植後の体調の改善とともにバイオクリーン病棟を歩いて早期リハビリテーションが可能です。

2) X線撮影装置と超音波検査装置

バイオクリーン病棟専用のX線撮影装置と最新式の3次元超音波検査装置が常置されておりバイオクリーン病棟内で必要な検査を迅速に行えます。

2. 診療実績

同種移植および自家移植を行っております。小児および成人の同種造血幹細胞移植を小児科医師あるいは血液内科医師がそれぞれ担当します。同種造血幹細胞提供者(ドナー)は血縁者あるいは非血縁者(骨髄バンクや臍帯血バンク)です。

■ 今後の展望

造血細胞幹細胞採取室

■ 診療体制と実績

1. 業務体制

輸血部担当者(医師、技師)により末梢血幹細胞採取や末梢血単核球(リンパ球)採取が行われています。

2. 診療実績

小児および成人の末梢血幹細胞採取を行い造血細胞移植に使用したり、末梢血単核球(リンパ球)採取して細胞療法を行っております。

■ 今後の展望

細胞処理室

■ 部門の特色

推進施設認定証

細胞処理室自体も無菌化されており、各種の細胞の無菌処理が可能です。採取された造血幹細胞や単核球(リンパ球など)について細胞処理を行います。処理された細胞の一部は最新式のFACS Canto IIフローサイトメータを使用してその品質を検査します。細胞を二酸化炭素細胞培養器に入れて短期間の培養を行うこともあります。

■ 診療体制と実績

1. 活動体制

1) FACS Canto II フローサイトメータ

造血幹細胞の含有率や免疫担当細胞の含有率を担当者が測定します。

2) バイオハザードクリーンベンチ

細胞処理はこの装置の中で担当者が行います。

2. 活動実績

■ 今後の展望

細胞保存室部門

■ 部門の特色

治療用の細胞を一時的に保存します。

■ 診療体制と実績

1. 業務体制

1) 液体窒素タンク

小児科および血液内科で治療に使用する細胞を比較的長期間保存する時に使用します。主として輸血部担当者が使用します。

2) ディープフリーザー

小児科、血液内科、皮膚科などの臨床科で治療に使用する細胞を比較的短期間保存する時に使用します。各科担当者が使用します。

2. 診療実績

■ 今後の展望

 <http://www.hosp.mie-u.ac.jp/>